先進工学科海洋土木工学プログラムのカリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を備えた人材を育成するため，以下に示す方針に基づいて，教育課程（カリキュラム）を編成のうえ，実施します。また，カリキュラムマップを別表に示します。

1. 初年次から卒業まで系統性のある教育課程の編成

(1) 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力を養成するための科目を配置します。
(2) エネルギーと環境，人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力を養成するための科目を配置します。
(3) 地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力を養成するための科目を配置します。
(4) 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力を養成するための科目を配置します。
(5) 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし，持続的な社会の発展に貢献できる能力を養成するための科目を配置します。
(6) 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力を養成するための科目を配置します。
(7) チームによる調査・討論・発表などを通じて，地域社会の課題を自主的に発見し，それを分析・解決できる能力を養成するための科目を配置します。
(8) 卒業後も主体的に学習を継続できる能力を養成するための科目を配置します。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために，各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し，厳格な成績評価を行います。